



# がんサポ通信

第51号

令和5年12月21日発行

緩和ケア委員会

## 令和5年度 山形県がん等の診療に携わる医師等に対する 第6回 緩和ケア研修会 (Web開催)



11月11日に山形県がん診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会を開催しました。

今年度もZOOMを利用したオンライン開催としました。参加者は、医師1名、研修医18名の計19名でした。今回は研修医が多く、山形市からも多く参加されていました。

研修参加者からは、「ワークショップやロールプレイは、実際に考えることが多く、貴重な体験となりました。」「大変勉強になりました。」等の感想がきかれました。ロールプレイは、実際に患者役を体験し、患者の置かれている状況や気持ちを理解する機会となり、悪い知らせを伝える際のコミュニケーションスキルを得ることができます。医師や研修医だけでなく、コメディカルの方々も参加することにより、病気を抱えている患者・家族とどのようにコミュニケーションをとって関わっていけば良いのか、多職種で考えることでより一層学びも深まると思われます。

皆さん、ぜひ参加してみたいはいかがでしょうか。



第2回

症

例

検

討

会

### 「末期心不全患者で 心不全ケアサポートチームが介入した事例」

第2回症例検討会では、地域連携緩和ケア協議会会員と症例に関与した医療機関等を招き、初めて末期心不全患者の緩和ケア2症例について検討会を開催しました。

末期心不全患者を在宅で支えるための工夫、病院、地域スタッフとの連携等について検討を行いました。訪問看護からは、「訪問看護の必要性に対し、患者と医療者との理解度に差があり信頼関係の築き方をどうしたらいいのか、病院とのタイムリーな情報共有が難しい状況がある。」と意見があり、また、在宅医からは「訪問看護受け入れについて、主治医から繰り返し助言してもらい理解を深めてもらうことで信頼関係を築けるのではないか。」と意見が出されました。

症例を振り返り、心不全患者の症状コントロールについて重症化予防のための連携や情報共有の必要性について再確認し、患者が安心して在宅で過ごせる体制づくりを進めていく必要があると改めて考える機会となりました。

緩和ケアの申し込み・問い合わせは  
緩和ケアリンクナース または、  
緩和ケアセンター（内線 3880）まで

